



2020年8月26日
Apple Japan, Inc.

Beats by Dr. Dre, BAD HOP をフィーチャーした動画 「Beat X Beat」を公開 新曲「High Land」制作の舞台裏に密着



Beats by Dr. Dre (ビーツ・バイ・ドクター・ドレ 以下、Beats) は、本日 8 月 26 日 (水) より、日本人アーティストを初めて起用したミニ・ドキュメンタリー「Beat X Beat」を公開しました。「Beat X Beat」は世界のトップアーティストによる音楽制作の舞台裏とそのインスピレーションをひもとく、Beats が手掛けるミニ・ドキュメンタリー・シリーズです。今回公開となった映像では、日本のヒップホップ・クルー、BAD HOP をフィーチャーしています。

このミニ・ドキュメンタリーは、新保拓人氏が監督を務め、最新アルバム『BAD HOP WORLD』の収録曲「High Land」制作の舞台裏に密着しています。プロデューサー JIGG のもと、メンバーの YZERR (ワイザー)、Vingo (ビンゴ)、Tiji Jojo (ティー・ジョージョジョ) がそれぞれのスキルとスタイルを結集し、宇宙、星、楽園からインスピレーションを得て、生きる喜び、生命の輝きを表現し、聴き手に新たな思いで日々を過ごすことの素晴らしさを伝えています。Tiji Jojo は「自分たちが社会の制約に縛られることなく、自らを表現し、今この瞬間を生きること。その気持ちをストレートに表現しました」とコメントしています。



BAD HOP は 2014 年に川崎市で結成され、日本のヒップホップ・シーンを代表するスターへと成長しました。YouTube での再生回数はすでに 1 億回を突破、ヒップホップという音楽、カルチャーの進化を担っています。YZERR は次のように語っています。「もしも僕たちの世代から、少なからずヒップホップのブームに火が付き、いろんな若い子たちがラップをするようになってくれたのなら、次は活躍できる場所だったり、サポートできる場所だったり、そういったシステムを僕たちがつくってあげることを BAD HOP はしっかり考えていべきだと思っています。自分たちのことだけを考えるのではなく、やはり次の世代に対して、つないでいくような流れを今後はメインに考えています」

Beats は、世界のトップアーティストによる音楽制作プロセスを伝えるために「Beat X Beat」シリーズの制作を開始しました。これまでセレーナ・ゴメス、アリアナ・グランデ、チャーリー・XCX、バッド・バニー、ナタナエル・カノ、ケンドリック・ラマー、コールドプレイ、ディスクロージャー、ルエル、アリ・ガティ、Hamza、Kitschkrieg、ノア・サイラス、ルディメンタル、JJ Lin、Lu1 といったミュージシャンが起用されました。BAD HOP は日本人アーティストとして初めて「Beat X Beat」に起用されました。

ビデオ視聴はこちらから：

Apple Music - BAD HOP アーティスト・ページ

<https://music.apple.com/jp/artist/bad-hop/1136139218?ls=1>

YouTube

<https://youtu.be/zRoimZ-q5wc>

画像のダウンロードはこちらから：

<https://www.dropbox.com/sh/clowfq1ln4tsq3x/AAC8k8TI228BrZQK1SkhhXEta?dl=0>

Beats by Dr. Dre について

Beats by Dr. Dre (Beats)は、Dr. Dre と Jimmy Iovine（ジミー・アイオヴァイン）によって 2006 年に設立された、世界をリードするオーディオ・ブランドです。高品質なヘッドフォン、イヤフォン、スピーカーなどのデバイスを通して、次世代のエンターテインメント性ある音楽をお届けしています。今後とも Beats は、レコーディングスタジオで聴いているかのような、エネルギーで心揺さぶるサウンドを、世界中の音楽ファンの皆さまにご提供できるよう努めてまいります。Beats は、2014 年 7 月に Apple ファミリーの一員となりました。

製品に関するお客さまからのお問い合わせ先：

アップルストアコールセンター

電話：0120-993-993